

第1回 日本静脈経腸栄養学会 九州支部学術集会

日時：2009年9月12日（土）9:30-16:40

会場：福岡明治安田生命ホール（福岡市博多区中洲5-6-20）

当番世話人：田中 芳明（久留米大学医学部外科学講座小児外科部門）

09:30 - 09:35	開会の辞 当番世話人 田中 芳明
09:35 - 10:35	教育セミナー① 「重症患者急性期における栄養管理法」 新日鐵八幡記念病院 救急・集中治療部 部長 海塚 安郎 座長： 特別医療法人 熊本第一病院副院長 野上 哲史
10分休憩	
10:45 - 11:45	教育セミナー② 「周術期の栄養管理」 社会保険宮崎江南病院 副院長 外科 白尾 一定 座長： 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院病院長 高松 英夫
11:45 - 12:25	昼食 I (40分)

12:25 - 13:20	<p>ランチョンセミナー</p> <p>「臨床現場における経口補水療法の活用」</p> <p>神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 准教授 谷口 英喜</p> <p>司会：</p> <p>久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 准教授 田中芳明</p>
12:35 - 13:00	<p style="text-align: center;">世話人会</p>
13:20 - 14:10	<p>昼食Ⅱ（40分） + 10分休憩</p>
14:10 - 14:50	<p>一般演題 5 題（40分）</p> <p>座長：</p> <p>久留米大学医学部外科学講座 講師 石橋 生哉</p> <p>【一般演題 1】</p> <p>「慢性肝障害患児に対する肝疾患用高栄養流動食投与効果の検討」</p> <p>朝川貴博 田中芳明 浅桐公男 小林英史 田中宏明 八木実 久留米大学外科学講座 小児外科部門</p> <p>【一般演題 2】</p> <p>「炭水化物含有飲料水による術前補水」</p> <p>今富良太 萩原聡 松本重清 岩坂日出男 大分大学医学部麻酔科学講座</p> <p>【一般演題 3】</p> <p>「誤嚥防止手術を必要とした高度誤嚥患者の 1 例」</p> <p>唐原和秀 国立病院機構 西別府病院 外科 石川知子 島崎里恵 同 神経内科 平野隆 大分大学 耳鼻咽喉科 重見英男 耳鼻咽喉科重見医院</p>

	<p>衛藤道生 衛藤外科</p> <p>【一般演題 4】</p> <p>「経腸栄養が有用であった COPD 合併維持透析患者の 1 例」</p> <p>成合順子 榎田麻千子 本吉佳世 櫛山夕香 壺岐朋子 吉田祥子</p> <p>社会保険宮崎江南病院 栄養管理部</p> <p>岩坪修司 白尾一定 同医師</p> <p>【一般演題 5】</p> <p>「経腸栄養施行時の Clostridium difficile および MRSA による腸炎に対してシ ンバイオティクス療法が有効であった 1 例」</p> <p>山内健 1) 高祖直美 2) 早田福子 3) 福元俊輔 4) 福泉公仁隆 5)</p> <p>1) 福岡市立こども病院小児外科 2) 国立病院機構九州医療センター看護部 3) 同 栄養管理室 4) 同 歯科口腔外科 5) 同 消化器科</p>
10 分休憩	
15:00 - 16:00	<p>教育セミナー③</p> <p>「肝疾患ならびに生活習慣病の栄養管理」</p> <p>久留米大学医学部消化器疾患情報講座・内科学講座 講師</p> <p>川口 巧</p> <p>座長：</p> <p>福岡市立こども病院・感染症センター 小児外科医長</p> <p>山内 健</p>
16:00 - 17:00	<p>教育セミナー④</p> <p>「糖尿病ならびに生活習慣病の栄養管理」</p> <p>久留米大学医学部内分泌代謝内科 准教授</p> <p>田尻 祐司</p> <p>座長：</p> <p>佐賀県立病院好生館消化器外科部長</p> <p>佐藤 清治</p>
17:00 - 17:05	<p>閉会の辞</p> <p>当番世話人 田中 芳明</p>

「第 1 回 JSPEN 九州支部学術集会」を終えて

去る 9 月 12 日（土）に開催致しました第 1 回 JSPEN 九州支部学術集会には、雨天にもかかわらず 300 名近くの方々にご参加頂きまして、誠にありがとうございました。また、教育セミナー、ランチョンセミナーをご担当頂きました講師、座長の先生方、さらに、ランチョンセミナーの開催や企業展示、広告に関しましてご支援いただきました各企業の皆様には厚く御礼申し上げます。

九州支部は、会員相互の情報交換の場として役立つ活動を行うとともに、すべての職種の方々を対象に栄養療法の各論についても学んで頂ける機会を設けることを目的に、臨床栄養の教育活動に力を注いだ学術集会の開催を目指しております。今回、第 1 回学術集会ではランチョンセミナーを含めて 5 題の教育セミナーを企画致しましたが、御講演すべてが即臨床に生かせる素晴らしい内容で、御参加のみなさんにとって有意義なものとなったことに大変満足致しております。

九州では各県で NST 研究会など活発な研究会活動がなされており、また九州全体でも九州代謝栄養研究会が既に 34 回の開催を数え、来年 3 月には熊本大学で第 35 回が開催されます。このように演題発表の機会は多くございますので、本学術集会では敢えて一般演題の応募は制限させて頂いたにもかかわらず、5 題の演題をお寄せ頂き活発に討論がなされました。

臨床栄養教育に関しましては、九州では医師に対する TNT プロジェクトが、大熊利忠先生や高松英夫先生を中心に盛んに行われ多くの方が研修を受け、全国的にも今年 8 月までで研修修了者は約 13,000 名となりました。また、JSPEN 医師セミナーもこれまで全国で 11 回開催され、延べ 1143 名の参加が得られております。

一方、NST 専門療法士制度は順調に進み、2008 年度までに 2410 名が専門療法士を取得され、本年度も認定試験の受験予定者は 1100 名を超えております。毎年九州においてもコメディカル教育セミナーを開催させていただいておりますが、専門療法士認定試験のテキストである「コメディカルのための静脈経腸栄養ハンドブック」は、御存じのとおり、総論から各論と多岐にわたり、非常に詳しい内容です。実際のところ、コメディカル教育セミナーでは栄養療法の基礎、栄養療法の実際としての静脈経腸栄養の基礎と管理、合併症、在宅栄養療法についての講義は行っておりますが、各論については時間の都合上行われてないのが現状です。従いまして、九州支部会では先に述べましたように、今後も臨床栄養の教育活動に力を注いだ学術集会の開催を目指してまいります。

九州支部学術集会が会員の皆様方にとって実りあるものとなりますことを願いますとともに、皆様方の今後のご健康、益々のご活躍を祈念いたしまして、御礼に代えさせていただきます。

第 1 回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会
当番世話人 田中芳明